**西別岳のプロフィール**

西別岳は摩周湖の東南に位置し、その799.5メートルの頂から摩周湖の素晴らしい眺めや、阿寒摩周国立公園のギザギザした火山景観と、オホーツク海に突出した半島にある知床国立公園の一部を見渡せます。６月から７月の間には、鮮やかなピンク色のエゾツツジや、可憐な紫色のチシマフウロなどの素晴らしい高山植物が西別岳の山肌に咲き渡ります。西別岳登山道と摩周岳登山道をつなぐ登山道は摩周岳の頂上へと続いています。

西別岳登山道

西別岳登山道は、経験を積んだハイカーにとっては、比較的簡単なコースですが、所々にある急勾配や狭くなっている道、石がゴロゴロとした道を登るには、高いレベルの体力を必要とするでしょう。西別小屋駐車場から山頂までは約90分ほどかかり、摩周第一展望台からは約3時間ほどかかります。

西別小屋登山口

西別小屋からのルートは、カラマツと広葉樹の森を抜けて登っていきます。登山口から約10分ほどの森の中に、うぐいす谷という休憩地があります。この名前は、この地域に住むウグイスに由来して名付けられています。うぐいす谷はがまん坂と呼ばれる非常に急勾配の登山道の始めの地点でもあります。高度100メートルほどのこの急勾配の斜面を登るのには約20分かかります。

がまん坂を登り終えると、道はやや平坦になり、その後、600メートルの曲がりくねった上り道があります。この平坦な区間には、脇にカバノキが生育しています。この600メートルの道を登り切った先には、豊かな高山植物が見られる広々とした草原が広がります。

草原は頂上から約500メートルほどで終わります。ここから道は狭まり、頂上まで続きます。この最後の区間は非常にゴロゴロしているので注意が必要となり、特に雨の日には足元にお気をつけください。山道はよく整備されており、土嚢で人工的に作られた階段が、登るのをより一層楽にしています。西別岳の頂上から1キロメートルほどの地点で、標高787メートルのリスケ山に向かって道が分岐しています。